

概要

「風評・風化対策強化戦略」のもと、復興・再生に向けて様々な挑戦を行う (H26.8～)

支援への御礼

福島現状を伝える

関係の深化

支援継続、新たな連携協力



- ①支援に対する感謝の気持ちを示す ②ふくしまの現状と復興への思いを国内外に発信 ③支援者からの継続的な支援を依頼
→本県に思いを寄せる全ての方々との共創を進め、復興へのギアをシフトアップさせる

目標

- 「復興状況」など正確な情報を県外、国外へ発信
- 「県産品の安全性」の理解を促進し、「県産品の販路の回復」
- 「教育旅行」「観光旅行」の回復

企業・団体等からの支援

★ふくしま応援企業ネットワーク (鹿島建設など17社 会員規模約27万人) H26.11 設立

- 県産品の活用
- 研修や会議の福島県開催
- 各種広報媒体での福島県情報PR

● 社員食堂での福島県食材・県産米の利用

:上期で450tの県産米(約300万合)を利用
:上期48ヶ所の食堂で県産食材を利用

● 安全性理解のための現地視察

:二本松農園や農業総合センターを視察

● 福島県情報のPR

:会員企業全社員向けに福島県情報のメールマガジンを発信(会員規模約27万人)



H27.5 二本松市の農家を訪問

● H27下期、ネットワーク企業全体で550t(約367万合)の県産米を社内食堂等で利用予定

● 県内の農村-企業連携モニターツアーへの参加(4企業、H27.11月~12月)

● 会員企業全社員向けに福島県情報のメールマガジンを発信(会員規模約27万人)



★各部局と縁のある企業・団体等

- 県産品を用いた商品開発
- 研修や社員旅行の福島県開催
- 広報誌での福島県情報PR
- 本業分野を通じた支援継続



H27.10 日通商事へ訪問活動

● 県産品を用いた商品開発 :ファミリーマート・キリン など

● 社員旅行の福島県開催 :東京海上日動火災保険

● IPPOIPPOプロジェクト(経済同友会) ● 県内高校への実習機材寄附(1429点) ● 多数の会員企業による福島県産品販売 など



H27.11 キリン氷結「福島産 梨」発売

● 社内報・代理店向け広報誌での福島県のPR(東京海上日動) (福島復興マルシェと知事訪問の内容を社内報・代理店向け雑誌12月号に掲載予定)

● 東京メトロが日比谷線銀座駅コンコースにて福島県産市を実施(H28.12に2日間)



H27.7 東京海上日動訪問様子を社内報にてPR予定

Key words

- 共創関係の深化・強化
- 強固な絆づくり

現在までの
主な取組

今後の動き
平成27年10月

Key words

● 強固な絆づくり
● 共創関係の深化・強化

現在までの
主な取組

今後の動き
平成27年11月

自治体からの支援

★継続的全国から継続的な職員派遣

(H27.10.1時点)

●平成27年度の派遣職員数 ・県へ **198**人 ・県内市町村へ **154**人 (延べ人数)

★継続的な支援

- 本県への教育旅行の呼び掛け
：京都府、滋賀県、奈良県
- 各種広報での情報発信
：滋賀県、宮崎県、京都府
- 桜の植樹により絆を深める取組
：京都府 (八重桜「はるか」) H27.2 京都市 (県産シダレザクラ) H27.4



滋賀県広報誌(H27.3-4月号)



京都市植樹祭(H27.4)

★九都県市首脳会議

H25.11.12 「福島県の復興を支援する共同宣言」
H27.5.18 首脳会議で継続的な支援を確認
H27.6.17 事務レベル会議「福島県の希望実現に向けた検討会」開催

●埼玉県

- 広報誌「彩の国だより」8月号にて福島県PR (発行部数229万部)
- 埼玉県人会報へ掲載(7月)
- 高体連や教育委員会への教育旅行の説明機会の確保(3回)
- 商工団体6団体への呼び掛け・農産物の購入・観光旅行誘致
- 浦和レッズ主催試合での福島県ブースの出演 (10/3)

など

●千葉県

- 広報誌「ちば県民だより」4月号にて福島県PR (発行部数209万部)
- 校長会等で教育旅行の説明機会の確保(3回)
- 県の協議会の会員企業に企業マルシェ等の協力を依頼。
⇒(株)日立製作所が販売ブース確保(H28.1月)
- 県庁内食堂にて県産食材メニューの販売 (7月～H28.3月)

など

●東京都

- 広報誌「広報東京」4月号にて福島県PR (発行部数400万部)
- 在京TV局で本県情報を放映 (テレビ東京、TOKYO MX、テレビ朝日)
- 校長会での教育旅行の説明機会の確保(9/3)
- 都営地下鉄の駅コンコースで県産品販売、観光PR (2回)
- 東京⇄ふくしまキャンペーンの継続

など

●神奈川県

- 校長会幹事会で教育旅行の説明機会の確保 (9/3)
- 観光交流課による教育旅行説明の様子
- 商工団体6団体への呼び掛け・農産物の購入・観光旅行誘致
- 市・市商工会・JA主催のまつりへの福島県ブースの出演 (11/15)

など

●横浜市

- 校長会理事会等で教育旅行の説明機会の確保 (計5回)
- 横浜市商店街総連合会(285商店街)、横浜商工会議所への呼びかけ (9/15)
- 食堂での県産メニューの提供 (8～9月)
- ハワイアンズ無料送迎バスの運行

など

●川崎市

- 校長会等で教育旅行の説明機会の確保(10/20)
- 商工団体へ情報発信を呼びかけ⇒広報団体広報誌に記事掲載へ (H27.12)
- 川崎市内の各種まつりへの福島県ブースの出演「福島応援フェア～食の安全知識普及事業～」 (4回)

など

●千葉市

- 都市モノレールでの中吊り広告掲載(1か月間)
- 都市モノレール駅構内に観光ポスターを掲示 (18駅)
- 小学校、中学校、高校、特別支援学校(総数約170校)へのパンフレットの配布 (8/17)
- 商工団体への県産品の活用への呼び掛け⇒桃の幹旋販売⇒広報誌に記事掲載

など

●さいたま市

- 校長会等で教育旅行の説明機会の確保(9/2)
- 区民まつり、鉄道フェア等での県産品販売(5回)
- 職員への桃の幹旋販売
- さいたま国際マラソンでの県産品販売(11/15)

など

●相模原市

- 相模大野駅前のパブリック広告に情報掲載 (H27.10～H28.3)
- 小田急線相模大野駅パブリックインフォメーション
- 校長会等で教育旅行の説明機会の確保(2回)
- 潤水都市さがみはらフェスタでの福島県ブースの出演 (10/31-11/1)

など

第67回 九都県市首脳会議



引き続き、福島県への支援を継続

来春、九都県市首脳会議の福島県開催が決定